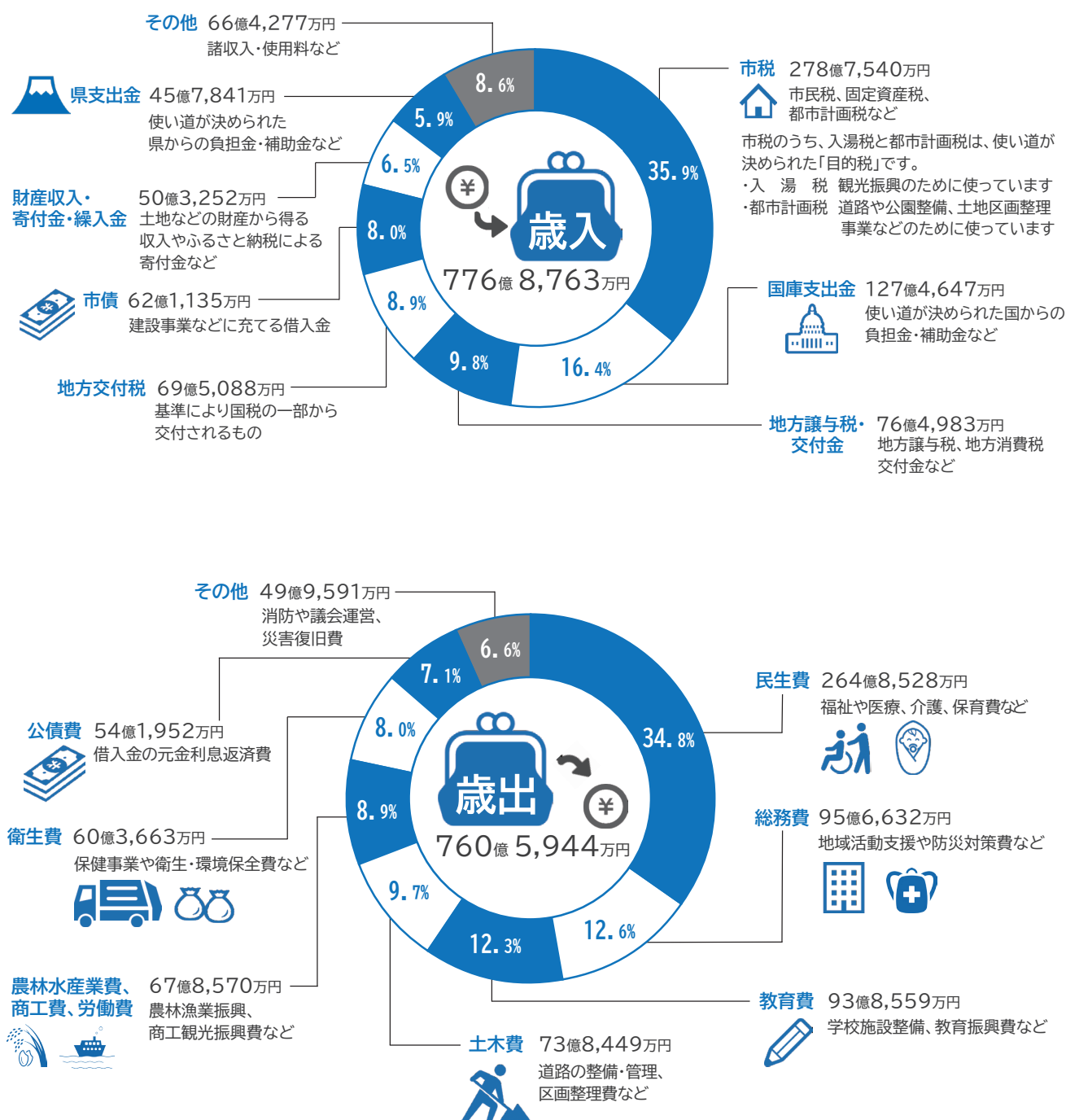


決算報告

皆さんに納めていただいた税金や国・県からの補助金がどのように使われたのか、令和6年度における各会計の決算の概要をお知らせします。

◎財政課（本庁舎4階） ☎ 0538-37-4883 FAX 0538-36-8954

一般会計決算



各会計の歳入歳出決算額

会計ごとの決算額です。歳入と歳出の差額については、令和7年度に繰り越して使ったり、基金に積み立てたりしています。

会計区分	歳入決算額	歳出決算額
一般会計	776億 8,763万円	760億 5,944万円
駐車場事業特別会計	8,857万円	8,830万円
国民健康保険事業特別会計	157億 1,492万円	155億 2,281万円
後期高齢者医療事業特別会計	27億 4,183万円	27億 3,093万円
介護保険事業特別会計	144億 9,776万円	138億 2,678万円
財産区(広瀬・岩室・虫生・万瀬) 特別会計	46万円	30万円
水道事業会計	36億 952万円	44億 2,872万円
下水道事業会計	86億 9,509万円	100億 2,067万円
病院事業会計	204億 1,074万円	230億 7,105万円

市債残高

返済しなければならない借入金の残高です。令和5年度末と比べ15億618万円減っています。

会計区分	金額
一般会計	556億 7,213万円
駐車場事業特別会計	1億 2,306万円
水道事業会計	65億 5,434万円
下水道事業会計	243億 1,327万円
病院事業会計	53億 7,754万円
合計	920億 4,034万円

基金残高

目的のために積み立てている市の「預金」額です。令和5年度末と比べ17億7,962万円減っています。

区分	金額
財政調整基金	75億 7,025万円
しっぺいこども福祉基金	2億 9,653万円
公共施設整備基金	2億 9,627万円
津波対策事業基金	24億 566万円
地域振興基金	20億円
その他特定目的基金	7億 2,534万円
国民健康保険事業基金	4億 3,125万円
介護給付費準備基金	10億 7,723万円
財産区(広瀬・岩室・虫生・万瀬)財政調整基金	566万円
合計	148億 819万円

財政力指数 0.798

標準的な行政活動を行うために必要な財源を、どのくらい自力で用意できるかを示しています。

数値が「1.0」を超えると財政基盤が安定していると判断され、国からは地方交付税が交付されません。

経常収支比率 95.5%

毎年支出しなければならない扶助費や公債費などに、市税や地方交付税など毎年ほぼ変わらず収入される一般財源をどのくらい充てているかを示しています。

数値が低いほど変化に柔軟に対応できます。

健全化判断比率・資金不足比率

財政の状況がどのくらい健全であるかを示す指標です。

いずれの数値も法律に定められた基準を下回っていることから、磐田市の財政は健全であるといえます。

区分		説明	磐田市の比率	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計の実質的な赤字が収入と比較してどの程度あるかを示します。	実質赤字額なし	11.42%	20.00%
	連結実質赤字比率	全会計における実質的な赤字や資金不足額が収入と比較してどの程度あるかを示します。	実質赤字額なし	16.42%	30.00%
	実質公債費比率	収入のうち、どのくらいを借入金の返済に充てているかを示します。	0.4%	25.00%	35.00%
	将来負担比率	借入金など将来負担する可能性がある金額が年間の収入と比較してどの程度あるかを示します。	0.4%	350.00%	
資金不足比率		公営企業などについて、資金不足額が事業規模と比較してどの程度あるかを示します。	いずれも資金不足額なし	経営健全化基準 20.00%	
		水道事業会計			
		下水道事業会計 病院事業会計			